

平成26年度事業計画について

1 ツーリズム創造・発展事業

(1) ツーリズム企画推進事業

- ①事業企画委員会のもと、会員相互の連携により事業企画・推進を図るとともに、事業提案を行う。
- ②ツーリズムおおいたが事務局として協議会の運営にあたり、事業企画・推進を図るもの。
 - 大分県ふるさとガイド連絡協議会
 - 大分県教育旅行誘致協議会

(2) 地域ツーリズム振興事業

①大分県ふるさとガイド育成事業

大分県ふるさとガイド連絡協議会の交流研修会を2回開催し、ガイドの資質向上を図るとともにガイド同士の情報やノウハウの交換を促進する。

さらに、地域の観光素材を結ぶ着地型商品と連携して、ガイド活動の幅を広げていくことに努める。

②広域観光推進事業

豊の国千年ロマン観光圏では、引き続き大分県北部地域観光圏協議会に事務局として参画し、県北部の広域観光圏の推進を図る。

国東半島芸術祭協議会に参画し、引き続き国東半島アートプロジェクトの企画、運営に携わる。

③ニューツーリズム講座開催事業

ロケツーリズムやスポーツツーリズムなどの分野において、新たな素材の掘り起こしに向けた講座を開催し、ノウハウを研究する。

(3) 広域連携事業

①九州観光推進機構

九州観光推進機構を中心に九州各県と連携した事業を実施するとともに、機構主催の観光商談会やイベント等に参加し、PRを行う。

②「やまなみハイウェイ」50周年

熊本県と連携して、相互を周遊できるような共同事業等を実施し、誘客を促進する。

③東九州自動車道開通

北九州から宮崎までの開通を目前に控え、宮崎県と連携した東九州広域観光推進協議会において中国・四国地方へのPR強化や商品造成を進める。

④大河ドラマ対策

中津市をはじめ県内関係自治体や福岡県等関係自治体・団体と連携し、「軍師官兵衛」にちなんだ観光コースの造成やガイドブックの作成を行い、誘客を図る。

2 情報収集発信事業

「日本一のおんせん県おおいた」の認知度向上を図るため、新たな話題づくりや旅の決定権を持つ女性に向けた情報発信を行い、おんせん県の浸透を図る。

(1) 「日本一のおんせん県おおいた」PR事業

①若者向け温泉旅行キャンペーンの実施

若い世代を対象に「おんせん県おおいた」のお湯を体験する機会を創出し、温泉のすばらしさを若い世代に実感してもらいファン層の獲得を図る。

②旅行予約サイトとの連携事業

個人型旅行が主流となっていることから、大手旅行予約サイトと連携した情報誌の発行や誘客キャンペーンの開催などにより促進を図る。

③観光ホームページ管理事業

25年度に引き続き、観光情報の充実とアクセス数の増加を図る。

④おんせん県PRツール作成事業

“おんせん県おおいた”の統一したイメージによる情報発信としてポスター、幟などのツールを作成して掲示し、県内外での認知度向上を図る。

(2) ガイドブック等作成事業

①ガイドブック制作事業

おんせん県おおいたの魅力をわかりやすく伝えるため、現行のガイドブックをリニューアルする。

②情報誌「Gururitto～ぐるり～」等発行事業

情報発信部会を中心に県内季節ごとの魅力ある情報をまとめた観光情報誌「Gururitto～ぐるり～」を年4回発行し、県内及び九州内や中国地方などの道の駅や公共交通機関のターミナルなどに配布する。

また、会員向けには2ヶ月に1回「ツーリズムおおいたNEWS」を発行し、各種事業の現況や県内の観光の動向を紹介する。

③観光情報収集事業

地域観光協会の観光情報と連携するXMLシステムを活用しながら、県内の旬の情報やご当地ならではの情報、会員を中心とした新しい取り組みに関する情報などを収集・集約する。

3 国内圏域別誘客促進事業

大分県への観光入込客数第1位の福岡圏域、陸海空の全ての交通アクセスで繋がる関西・中国圏域、人口が集中する首都圏に対し、それぞれのニーズに応じた情報発信やセールス活動を行うことにより、圏域毎のターゲットに対して効果的な誘客促進を図る。

(1) 福岡圏域誘客対策

若い女性及びファミリー層を主なターゲットとして、フリーペーパー等各種情報誌に旬な情報の掲載などを切れ目なく発信する。

商品造成についてはツーリズム商談会を開催し、エージェントやメディアに大分県の観光PRを行うとともに、バスツアー等の積極的な造成を図る。

(2) 関西・中国圏域誘客対策

若い世代、アクティブシニア並びに教育旅行を主なターゲットとして、9月に県、市町村並びに会員等と一体となって、情報発信会を開催する。

また、関西圏から大分県への交通手段が複数あることから、フェリー事業者と連携した商品造成を促進する。

教育旅行では大阪、京都、兵庫といった関西圏並びに広島を中心とした中国地方をターゲットとした誘致を推進するとともに、エージェント担当者招へいやセミナー開催を実施する。

(3) 首都圏誘客対策

好奇心旺盛なアクティブシニアや働く女性、マニア層、富裕層を主なターゲットとして、大分県東京事務所おんせん県おおいた課と連携を密にし、マスコミを活用した情報発信を強化するとともに、富裕層を対象とした会員制会報誌等を活用した情報発信により誘客を促進する。

27年夏のデスティネーションキャンペーンに向け、福岡以外の大都市圏（東京、大阪、名古屋、広島）においてもツーリズム商談会を開催し、商品造成を促進する。

また、LCCなど航空事業者と連携した事業により、首都圏からの誘客を促進する。

4 おんせん県おおいたデスティネーションキャンペーン推進事業

JRグループと連携した国内最大規模のキャンペーンである平成27年夏の「おんせん県おおいたDC」を成功させ、交流人口の増加による地域活性化を図るため、県・市町村・民間事業者と連携して、実施に向けた準備や態勢整備を進める。

(1) 全国宣伝販売促進会議

9月3日に開催される会議に向けて、各方面との調整や地域の素材掘り起こし、ブラッシュアップに努め、会議の成功とその後の商品造成を促進する。

(2) JRグループとの連携事業

① JR九州との連携

JR九州が主催するプレキャンペーン等において、県内各地域との調整を図るとともに誘客を促進する。

② JR西日本との連携

関西以西からの誘客を促進するため、JR西日本と連携してキャンペーンを実施し、情報発信・誘客を促進する。

(3) エクスカーションの強化

全国宣伝販売促進会議の際に行われるエクスカーションについて、旅行社等のプロの目を活用したブラッシュアップや、受入態勢の整備に努め、魅力的なルートを設定する。

5 MICE誘致推進事業

MICE誘致の窓口となるMICEセンターにおいて、団体や企業情報の個別収集、MICE開催データの充実や受入体制の確立を進める。

また、県内関係団体や企業並びに県外重点地区への訪問セールスを実施するとともに、様々なMICE開催ニーズに応えるための支援制度の充実を図る。

6 緊急雇用おんせん県魅力発信事業

「おんせん県おおいた」のイメージを浸透させるため、新たに職員を雇用し、情報発信を強化する。また、東九州自動車道の全線開通ややまなみハイウェイ50周年などの記念事業を活用した誘客促進を図る。

7 海外観光客誘致対策事業

急速に経済発展を続ける東アジアや東南アジアを主なターゲットに、本県の特徴を生かし、国・地域の特性や旅行ニーズに応じたアプローチを行い、誘客を展開する。

(1) 韓国対策

大分県への観光客数では最大の実績のある韓国に対しては、国際観光展・商談会等への出展やプロモーションを行うとともに、旬な旅行情報や施設情報などニーズの高い情報の提供を行い、更なる誘客へと繋げる。

(2) 台湾対策

温泉文化を共有する台湾で、「おんせん県」のPRを行い、更なる誘客を促進するとともに、きめ細かな情報提供を行う。

(3) タイ対策

ASEANの中でも親日的で訪日観光客が増加しているタイにおいて、観光展への出展やプロモーションを行い、商品造成を促進し誘客を図る。

(4) その他

社会情勢の影響で中国からも観光客は減少したが、九州観光推進機構などと連携して、引き続き取り組む。

また、長崎・熊本と連携した九州横断ルートの宣伝活動や誘致活動を行う。

8 ツーリズム推進体制強化事業

(1) 総会の開催

会員の総意に基づきツーリズムおおいたの事業を推進するため、通常総会を年1回開催する。通常総会においては、前年度の事業報告や決算報告を行うとともに、新年度の事業計画案、収支予算案を諮り、その承認を求める。また、大分県のツーリズム振興に特に功績のあった団体・個人に対してその功績を称え、表彰を行う。

(2) 理事会の開催

通常理事会については、年3回開催する。

(3) 運営会議の開催

事業活動の円滑な運営と活性化を図るため、会長、筆頭副会長及び副会長からなる運営会議を定期的で開催する。

(4) 運営基盤の確立

安定した運営基盤を確立するため、新規会員の加入促進や自主事業収入の確保など運営基盤の強化を図る。

(5) 会員との連携強化

大分県全体のツーリズム振興をさらに円滑に行うため、各地域の市町村・観光協会・観光事業者・まちづくり団体など会員との連携体制を強化し、情報収集及びその発信をはじめ、共同での事業推進を図る。